

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の

し て い ぶ ん か ざ い けん そ う ぶ つ

指定文化財(建造物)



場所

・矢掛町矢掛



時代

・江戸時代



指定年月日

・昭和44(1969)年6月20日

・昭和57(1982)年6月11日追加指定



所有

・(財)矢掛脇本陣高草家住宅保存会



見学

見学可(※土曜・日曜のみ開館、
建物内に入ることは可能、座敷
に上がることは不可、有料)

きゅうやかげわきほんじんたかくさけじゅうたく

旧矢掛脇本陣高草家住宅

新高総早倉
見梁社島敷
市市市町市

矢掛町

井浅里笠
原口庄岡
市市町市



この建造物について

脇本陣高草家は、文化12(1815)年に矢掛村庄屋となり、安政5(1858)年には大庄屋となつた家で、「大高草」と呼ばれました。

屋敷は間口約18間(約33m)、敷地面積約530坪(約1,370㎡)で、本陣石井家に次ぐ規模となっています。

同じ宿場に本陣と脇本陣が二つとも残っており、かつどちらも国の重要文化財に指定されているのは全国で矢掛宿のみです。

